

ミラチバプロジェクト 未来につながる未来をつくる千葉での出会い

千葉県健康福祉部
こども・若者政策課

ミラチバプロジェクトの概要

少子化の背景には、若い世代の出会いの機会の減少という課題があります。県では、交際や結婚に限らず、悩みを共有できる友人や仲間とのつながりを生み出すことが重要と考え、官民連携により若者の出会いや繋がりを県全体で応援する「ミラチバプロジェクト」を推進しています。その一環として、令和7年度に若者の仲間づくりを支援する事業として「ちば部」を発足しました。

若者の仲間づくり支援事業「ちば部」

「ちば部」は若者がスポーツやグルメなどの趣味や関心があることでつながる「部活動」のようなコミュニティです。



若者の仲間づくり・出会いの機会創出

令和7年度は、県が主体的に関わり、企業や団体の皆さまと連携して若者の仲間づくりにつながるイベントを開催してきましたが、令和8年度は次の3つの種類のイベントにより、若者の出会いを応援します。

(1)ちば部シンボルイベント

県が主体となり、「ちば部サポーター」と協働して実施する、「ちば部」を象徴し、他のモデルとして県内への波及が期待されるイベント

(2)ちば部サポーターイベント

「ちば部サポーター」が主体的に実施する若者の趣味等をきっかけとした仲間づくりや出会いにつながる「ちば部」の公認を受けたイベント

(3)ちば部員イベント

「ちば部員」が自ら企画・立案することにより実施する「ちば部」の公認を受けたイベント

今後は、当事者である若者の意見を踏まえながら、様々な分野の担い手確保や環境保全活動など、社会的な課題をテーマとしたイベントや、地域と若者を繋げる取組等も「ちば部」を通じて行っていく予定です。

市町村の皆さまの取組とも連携していきたいと考えているため、若者と繋がりたいコンテンツがありましたら、千葉県まで御相談ください。



ゴミ拾いイベントの様子



マラソンイベントの様子

令和7年度は野球、マラソン、サッカー、ゴルフ、バスケット、グルメ等の趣味をテーマにしたイベントを合計18回開催し、延べ422人の若者に参加をいただき、93%の方から満足との回答を得ました。令和7年度は、県が活動主体となり、約50社の企業や団体の皆さまから様々な形で御賛同もいただき、多様な若者の交流の機会を提供することができました。

ちば部サポーター登録制度の新設

一方で、まだまだこの取組は拡大する余地があり、より多くの若者や企業等の皆さまの参加で、若者を応援する機運をさらに高めていきたいと考えています。令和8年度は取組を拡大し、新たに「ちば部サポーター登録制度」を創設しました。県内の若者を「ちば部員」と位置

「ちば部公式ホームページ」のリニューアル

「ちば部サポーター登録制度」創設に合わせて「ちば部」公式ホームページをリニューアルしました。

これまでのイベント情報の発信や「ちば部デジタル部員証」取得機能に加え、サポーター登録機能や、若者によるイベント等の企画・開催を支援する相談窓口を新たに設け、以前より見やすい仕様となりました。



担当者コメント

「ちば部」は、千葉県庁の若手職員によるプロジェクトチームのアイデアが基となった取組です。若者が出会いやつながりを得ることで、交際や結婚だけでなく、支えあえる友人や地域、文化、仕事など多様な世界と関わるきっかけが生まれます。その一つひとつのつながりが、将来の千葉県の活力につながっていくと信じています。私自身、「人とのつながりは財産」を座右の銘としており、「ちば部」を通じて県内の若者が多くのかけがえのない財産を築けるよう、全力で取り組んでまいります。



「ちば部」担当者
浅野 将司 主事

その他の取組

千葉県では若者の仲間づくり支援「ちば部」の他にも若者の出会いに繋がる取組を行っています。

例えば令和6年度から7年度にかけて、全県を対象として、メタバースを活用した婚活イベントをモデル事業として、実施しました。参加者からは「自宅から参加できるため気楽」や「見た目の印象がなく、中身勝負なので良いと思った」等の声をいただいたところです。



メタバース婚活の様子

令和8年度は、官民連携による婚活支援の第一段階として、広域婚活を希望する市町村と、より連携するため、対象エリアを限定し、地元企業・団体と連携したモデル的な官製婚活を「千葉県広域連携婚活支援モデル事業」と銘打ち、新規事業として実施いたします。

この新規事業は多数の市町村の皆さまから一緒に協働して実施したいとの声をいただいております。年内に数回、広域連携の婚活イベントの実施を予定しています。